

平成26年度 佐渡市生活科部 活動報告

部長 池野 みどり

1 研修の方針

学習指導要領の趣旨をふまえた指導のポイントを知り、実際に体験することを通して、生活科の授業で活用できる研修をする。

2 活動の概要

- (1) 日時 8月6日(水)
- (2) 会場 佐渡市立金井小学校
- (3) 内容 実技研修
- (4) 講師 佐渡市両尾小学校 教頭 森 和人 様
- (5) 実技研修
「身近なものを使って、ものを作ろう」

3 研修を振り返って

今回は、普段、おもちゃ作りの教材研究をする時間がなかなかもてないという会員の声を受けて、講師をお招きして研修を行った。

研修の前半では、学習指導要領に基づいた、生活科の目標や具体的内容について、御指導をいただいた。その中でも、自然やものを使った遊びの際は、

- (1) つながりを意識しているか。
- (2) 試行錯誤できるものになっているか。
- (3) 材料は十分にあるか。
- (4) 作りながら試す活動になっているか。
- (5) 価値付けが行われているか。



御講演の様子

上記の5点に留意して、学習を組んでいくことが大切であると学ぶことができた。

また、生活科では、おもちゃ作りの例が載っている資料をいただいた。今後の授業に生かせると大変貴重な資料となった。

後半は、資料をもとに、各自がおもちゃ作りを行った。作りながら遊んだり、動くか試してみたり、子どもの気持ちになって、おもちゃ作りを行うことができた。子どもが試行錯誤できる道具の準備や環境を整えることの大切さを学んだ。

受講者からは、次のような感想が聞かれ、有意義な研修となったことがわかる。

- ・ 普段じっくり取り組むことができない、おもちゃ作りの教材研究をすることができてよかった。
- ・ 実際に作ることで、子どものつまづき箇所（工夫や気付きにつながる点）を、実体験から知ることができた。
- ・ 生活科の目的を改めて意識できた。
- ・ 気付きのポイントや具体例を御指導いただき、気付きについて改めて考えることのできる良い機会となった。
- ・ すぐに授業に生かすことのできる有意義な研修となった。



おもちゃ作りの様子

今年度の研修を日々の授業実践に活かし、生活科で育てたい力を明確にした授業づくりを行っていききたい。